横井 克典 議員
無会派



問 学校空調設備の整備を急げ！

答 計画的に整備を進める

問 他自治体と比べ、本市の学校体育館の空調整備は遅れている。市の認識は。

答 教育部長 国の前倒し計画より１年前に整備が完了する工程であり、遅れているとは判断していない。

問 弥生小、桜小、白鳥小、日の出小、弥中、北中の空調整備は何年度に完了予定か。

答 令和９年度から設計に着手し令和12年度までに全校の整備完了を目標としている。

問 学校による整備時期の違いは、教育環境の公平性を損なわないか。

答 計画的に整備を進める過程で、結果として整備時期に差が生じるものと認識している。

問 下校時の熱中症対策として、冷却グッズを保冷する冷凍庫等を設置する考えは。

答 設置場所や安全面、管理方法などの技術的な条件を検討する必要がある。

問 給食費を完全無償化した場合、年間負担額は。

答 試算では小学校は約2,200万円。中学校は約7,800万円。



▲白鳥コミュニティセンターのエアコン

問 修繕費を十分に確保する考えは

答 順位を明確にし、予算配分する

問 昨年からシルバー人材センターのエアコンが故障している。担当課は財政課に予算要求を行ったか。

答 健康福祉部長 本年度当初予算に機器更新費用を計上した。６月に新たに不具合を確認し、本議会に提案している。

問 ７月13日に故障した十四山支所のエアコンに関し、現在の対応状況は。

答 市民生活部長 応急措置を行い運転を再開している。抜本的な修繕の完了は10月末になる。

問 十四山総合福祉センターのエアコン修繕を、担当課は予算要求したか。

答 健康福祉部長 応急修繕を行い運転しており、更新は適切に対応する。

問 修繕費を十分に確保し、先送りしない予算編成を行うべきでは。

答 市長 緊急性に加え、再配置の方向性も踏まえながら優先順位を明確にし、適切な予算配分をしていく。



▲シルバー人材センター（総合福祉センター）のエアコン